

パブリックコメントの回答について

「(都)音羽小田線及び(都)本町宮前線の都市計画変更について」のパブリック・コメント募集手続については、令和4年11月7日から12月7日まで募集し、1名から4件の意見が提出されました。いただいた意見と市の考え方は以下のとおりです。

	いただいたご意見の要旨	市の考え方
1	(都)本町宮前線から(都)音羽小田線へ西進が可能になるとアピールしていますが、手前の踏切を整備するなどして車の流れを分散させてほしい。	駅北へのアクセス強化や、歩行者等の安全性確保のために、JRアンダー一部を含む道路の整備が必要であると考えています。
2	黒家上野町店から上野町高架部を右折して虎溪町の中央北分団跡地の方向へ通行することは可能か。公表されている図をよく見ると右折が出来なくなるように思われるが、不便になるので右折も従来通りできるようにしてほしい。	当該道路整備後は右折できなくなる予定です。対応策として手前の踏切(第7明治街道踏切)の一方通行の方向を、現行の北進方向から南進方向へ切り替えることを検討しており、現在、警察等の関係機関との協議を実施しております。
3	雑居ビル「カサヒカリ」前の交差点が交通量が多く危険を感じる。信号機は設置されるか。もし設置しなければ、環状交差点(ラウンドアバウト)などを整備するなど安全性を向上させてほしい。	信号機は岐阜県公安委員会が設置するものですが、現時点での岐阜県公安委員会との協議では設置の予定はありません。環状交差点については道路に勾配がある等で整備は困難です。カーブミラーの設置等を予定していますが、それ以外についても警察等の関係機関と協議をしながら安全性の確保に努めていきます。
4	線路との交差は立体交差にしてほしい。平面交差では利便性が低下し、工事をする意味が薄れると考える。	現状、(都)音羽小田線は鉄道と立体交差となっており、都市計画変更後も変わりません。